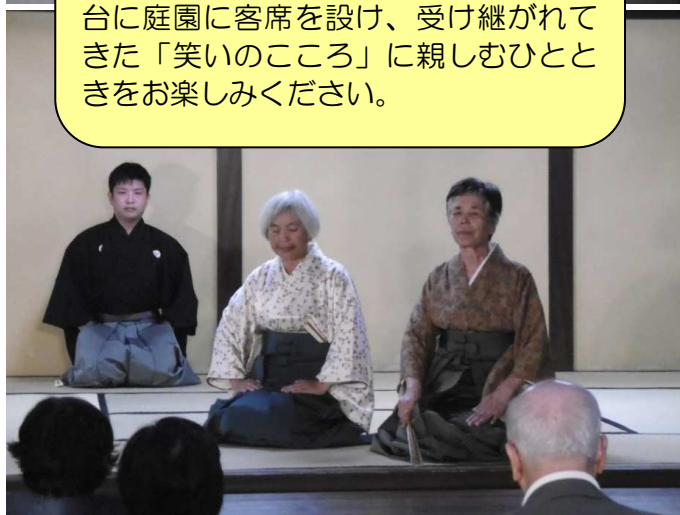


山口の伝統芸能「鶯流狂言」の公演を、日頃けいこ場として活動されているまなび館で開催します。表座敷を舞台に庭園に客席を設け、受け継がれてきた「笑いのこころ」に親しむひとときをお楽しみください。



まなび館秋の鶯流狂言公演

まなび館秋の鶯流狂言公演

秋の夜長のひとときを伝統芸能・鶯流狂言でお楽しみいただきます。

日時： 9月30日（土）18時～19時
 演目： 神鳴り、不毒、宮城野（予定）
 定員： 30名（先着順）
 料金： 無料（申し込みは随時受け付けます）

体感！実感！クラフト展

アートふる山口開催に併せて、大内塗、陶芸、型染、手織、染色、パッチワークとちりめん細工、レザー、トランプ・メタルなどが体験できます。詳細は、山口ふるさと伝承総合センターのウェブサイト、または電話でご確認ください。

日時：10月8日（日）10時～16時

＜同時開催の催し＞

アンテナショップ販売（西京ふるさと工房）
 尾崎真吾似顔絵コーナー・教室作品展示
 創作人形・書・能面教室等の展示・体験

まちづくりNEWS ◆ミニ暮音小路◆

大殿で始まる道整備のまち歩き点検を開催！

これまで大内文化街道まちなみ協議会の活動や提案をご紹介してきましたが、その中でいよいよ道整備事業が今年度中に動き出します。まちなみ協議会では下記の日程で既に整備された道の素材を見て歩き私達の地域にふさわしい仕上がりを確認したいと思います。又、主要道路の縦小路の今後の町並み等も併せて想いを馳せてみたいと考えています。関連町内会宛にご案内は致しますがご興味のある方がおられましたら事務局にお問い合わせください

■街歩き点検実施日■

日時：9月23日（土）
 13：30から16時予定
 集合場所：伝承センター
 問合せ：まちなみ協議会
 事務局 083-921-6686



⑥大殿小学校

明治6年豎小路小学創立、鴻東小学校等の改称を経て（同28年さきがけの松植樹）、同39年大殿尋常高等小学校と改称。同45年現在地に移転。

⑦警察署

維新後警察機構が整備され、明治5年に吉敷郡等を管轄する取締組が県庁に置かれました。明治17年に山口警察署として下豎小路に新築開庁されました。後の下豎小路派出所の場所にあたります。昭和14年清水に、昭和47年糸米の現在地に移転しました。

⑧中学校

現山口高等学校の前身。明治3年山口明倫館は山口中学と改称、鴻城学舎、山口中学校を経て明治19年山口高等中学校発足に伴い、その予備門として山口学校が設立。同24年現市民会館の地に移転、同28年山口県尋常中学校となり、同31年校舎をこの地に新築・移転、当時県下最大の工事だったといえます。同34年山口中学校と改称。多くの人材を輩出しました。

⑨高等商業学校

明治19年山口高等中学校が設置され、学都山口を代表する高等教育機関として同27年（旧制）山口高等学校へと引き継がれます。明治38年山口高等商業学校に改編、日露戦争後、大陸で活躍する人材育成を見据えた実業専門学校として、全国で3番目の官立高商に。山口大学経済学部の前身。

⑩師範学校

明治6年旧山口明倫館内に教員試験所、翌年山口県教員養成所を設立。同10年山口県師範学校と改称、同18年山口師範学校に改称等変遷を経て、戦後山口大学教育学部となりました。

⑪鴻城学校（鴻城中学校）

明治22年大谷新二が諸願小路に私塾鴻城義塾を開設。後に早間田に移り、同30年鴻城中学校と改称。昭和13年小郡へ移転、戦後鴻城高等学校に。

⑫図書館

明治36年後河原に開館。公立図書館として国内初の児童閲覧席や公開書架を設置。蔵書の増大に伴い、大正7年煉瓦造3階建の書庫が増設されました。（現C・S赤れんが）

⑬永楽座

明治41年愛国婦人会山口支部第1回総会の際、歌舞伎芝居などが催され、会員や軍人遺族などに開放されました。後に山口座が新設され、芝居の間には活動写真も上映されました。旧公設市場付近にあたります。

⑭町役場

明治22年山口町が発足、役場は米殿小路の常妙寺等に仮設、同24年中市町の旧山田本陣の地に移転しました。

山口町全図（兩村明倫所蔵） 明治41年（1908）



明治中頃の大殿地区（山口市歴史民俗資料館蔵）



①洞春寺

毛利元就の菩提寺。幕末山口移鎮に伴い萩から山口へ移転することとなり、文久4年（1864）万年寺と改号。江戸時代この地にあった常栄寺は文久3年宮野へ移り、そこに明治4年万年寺が移転、同32年再び洞春寺となりました。

②歩兵第四十二連隊

明治30年広島から移駐してきました。同33年北清事変へ、同37年日露戦争へ出兵。日露戦争戦利品28cm臼砲が亀山南側平蓮寺山に設置（同43年竣工）され、号砲により正午を知らせ、親しまれました。

③光城女学校

明治12年服部章蔵が下関にミッション系の光塩学校を開設、同24年広島の広陵女学校と合併し山口英和女学校を道場門前に開校。翌年後河原に移転し光城女学院と改称、同27年野田に移転しました。大正3年長崎の梅香崎女学校と合併して下関に移り、両校の一字ずつをとって梅光女学院が誕生。明治28年設立された明星幼稚園が大正4年この地に移りました。

④縣病院

明治16年八坂神社境内に山口県立病院を設置、翌年八幡馬場に移転し診療を始めました。大正9年縣病院から日本赤十字社山口支部病院となりました。

⑤村尾裁縫女学校

野田学園の前身。藩主毛利元徳子息の養育主任を務めた村尾マツが、明治10年大殿大路に裁縫所を創設、同35年私立村尾女子裁縫学校と改称しました。大正9年野田に移転、野田女学校と改称しました。

9月スケジュール

教室 OB会

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	1	2
					手織 大内塗	大内塗 着付 鶴流
3	4	5	6	7	8	9
竹割講習会	和裁 型染①	陶芸A トール	陶芸A パッチ③	陶芸B 和裁 レザー①	陶芸B 手織	鶴流 竹細工
10	11	12	13	14	15	16
こども茶の湯 竹細工	型染 和裁 型染②	トール	竹割講習会 染色 パッチ①	レザー 和裁 パッチ②	レザー③ 手織 大内塗	大内塗 着付 鶴流
17	18	19	20	21	22	23
竹割講習会 こども茶の湯	和裁 型染③	トール	パッチ③	和裁 レザー①	手織	鶴流 竹細工
24	25	26	27	28	29	30
陶芸絵付け体験 竹細工	型染 和裁 型染④	トール 陶芸AB	竹割講習会 染色 パッチ①	レザー 和裁 パッチ②	そば打ち体験 レザー②④ 手織	鶴流狂言公演

教室（初心者向け）・体験のご案内

陶芸教室

半年間で陶芸の基礎を学びます。

日 時：10月～3月

A 班 原則第1火・水曜日 9:30～12:00

B 班 原則第1木・金曜日 13:00～16:00

※定期指導日以外の日も実習可能です。

開講式：10月5日（木）13:30～15:30

定 員：各班20名（先着順）

教材費：実費負担（土・焼成代）



染色教室

季節の型染やストリーを染めます。

日 時：10月～2月の原則第1・3水曜日
（全10回）、13:00～15:00

定 員：20名（先着順）

教材費：8,000円



パッチワークとちりめん細工教室

針さし、ボーン等を作ります。

日 時：10月～3月の原則第1・3木曜日
（全10回）、13:30～16:00

定 員：20名（先着順）

教材費：6,000円



着付教室

ひとりで着物が着れるようになります。

日 時：10月～3月原則第1・3土曜日
（全12回）19:00～21:00

定 員：20名（先着順）

受講料：12,000円（着物は各自持参）



こどもの茶の湯教室

茶の湯の基本的な作法を学びます。

日 時：10月～3月原則第2・4日曜日
（全12回）13:00～15:00

対 象：小学3年生以上

定 員：20名（先着順）

受講料：1,500円（1カ月）



竹細工教室

六ツ目盛籠を作ります。

日 時：10月～2月原則第1・3日曜日
または第1・3水曜日（全8回）
13:30～15:30

定 員：合計20名

教材費：8,000円



陶芸絵付け体験

素焼きの皿に絵付けをします。

日 時：9月24日（日）14時～16時

定 員：先着20名（小学生以下は要保護者同伴）

体験料：1皿500円（1人2枚まで）



そば打ち体験

打ったそば3人前をお持ち帰り

日 時：毎月最終週、9月は28日（木）

13:30～16:00

定 員：14名（抽選にて選定）

体験料：1,000円（材料費含む）



申込受付 9月18日（月）9時～

（そば打ち体験は20日（水）まで）

ブラジルからの海外技術研修員が研修中です

山口県の海外技術研修員としてブラジルから金崎理恵スージーさんが来山され、伝承センターで7月から1月までの間研修を受けています。

金崎さんは、お祖父さん・お祖母さんが下関市出身の日系3世。大学では美術を学び、現在はメイクの仕事をしています。

将来は大学で陶芸を教えたいとのことで、萩焼や大内塗等の知識・技法を学びたいと研修にのぞんでいます。



山口ふるさと伝承総合センター発行

〒753-0034 山口市下野小路12

TEL 083-928-3333 FAX 083-932-1877

E-mail y-densho@c-able.ne.jp

URL <http://y-densho.sblo.jp/>

館内見学時間

9:00～17:00

入場料 無料